

第11節 人と自然との触れ合いの活動の場

実施区域及びその周辺には、主要な人と自然との触れ合いの活動の場が存在するとともに、自然環境保全に係る法令等の指定地域が存在し、工事の実施（工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置）及び道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場への影響が考えられるため、調査、予測及び評価を行いました。

1. 調査結果の概要

1.1 調査の手法

(1) 調査項目

1) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

- ・人と自然との触れ合いの活動の場の分布、自然特性、活動の内容及び利用状況の概要

2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

- ・分布の状況（面積・延長・対象道路からの距離）

- ・利用の状況（利用形態・利用時間帯・交通手段）

- ・利用環境の状況（自然資源の内容、景観等の特性）

(2) 調査手法

調査は、既存資料調査及び現地調査により行いました。

既存資料は、表 11-11-1 に示すとおりです。

また、表 11-11-2 に示す関係市町への聞き取り調査を行いました。

現地調査では、主要な人と自然との触れ合いの活動の場を取り巻く自然資源の状況を写真撮影により視覚的に把握しました。また、主要な人と自然との触れ合いの活動の場において行われている主な自然との触れ合いの活動の内容を詳細に把握しました。

表 11-11-1 既存資料一覧

資料名	発行者	発行年月・確認年月
滋賀・びわ湖観光情報	公益社団法人びわこビジターズビューローHP	令和5年4月現在
滋賀を歩こう。充実の43コース	公益社団法人びわこビジターズビューローHP	令和元年7月19日時点
こころに残る滋賀の風景	滋賀県HP	令和5年4月現在
湖東三山自然歩道の情報	滋賀県HP	令和5年4月現在
ビワイチサイクリングマップ	滋賀県観光振興局ビワイチ推進室	令和2年2月 令和3年3月
ウォーキングコース・ジョギングコース・サイクリングコース	彦根市HP	令和5年4月現在
彦根観光ガイド	公益社団法人彦根観光協会、彦根市観光交流課HP	令和5年4月現在
観光地情報	一般社団法人多賀観光協会HP	令和5年4月現在
正樂寺山ハイキングコース	甲良町HP	令和5年4月現在
公園・緑地	甲良町HP	令和5年4月現在
愛荘自然観察の森	愛荘町HP	令和元年7月19日時点
愛荘町ガイドマップ	愛荘町商工観光課	令和5年4月現在
愛荘観光なび	愛荘町観光協会HP	令和5年4月現在
東近江市観光web	一般社団法人東近江市観光協会HP	令和5年4月現在
公園で遊ぼう	東近江市HP	令和5年4月現在
まちに点在する憩いの夢空間	近江八幡市HP	令和元年7月19日時点
近江八幡漫遊	近江八幡市文化観光課	平成31年3月

表 11-11-2 関係市町への聞き取り先及び時期

聞き取り先	聞き取り年月日
滋賀県 琵琶湖環境部 自然環境保全課	令和3年8月6日
滋賀県 商工観光労働部 観光振興局	令和3年8月27日
米原市 経済環境部 商工観光課	令和元年10月31日
彦根市 都市建設部 都市計画課	令和元年11月1日
多賀町 産業環境課	令和元年11月1日
甲良町 産業課	令和元年11月1日
豊郷町 産業振興課	令和元年11月1日
愛荘町 農林商工課	令和元年10月28日
東近江市 都市整備部 都市計画課	令和元年10月31日 令和4年12月14日
近江八幡市 総合政策部 文化観光課	令和元年10月31日

(3) 調査地域

調査地域は、方法書段階の実施区域及びその端部から 500m 程度の範囲とし、その範囲内において、主要な人と自然との触れ合いの活動の場が分布する地域としました。

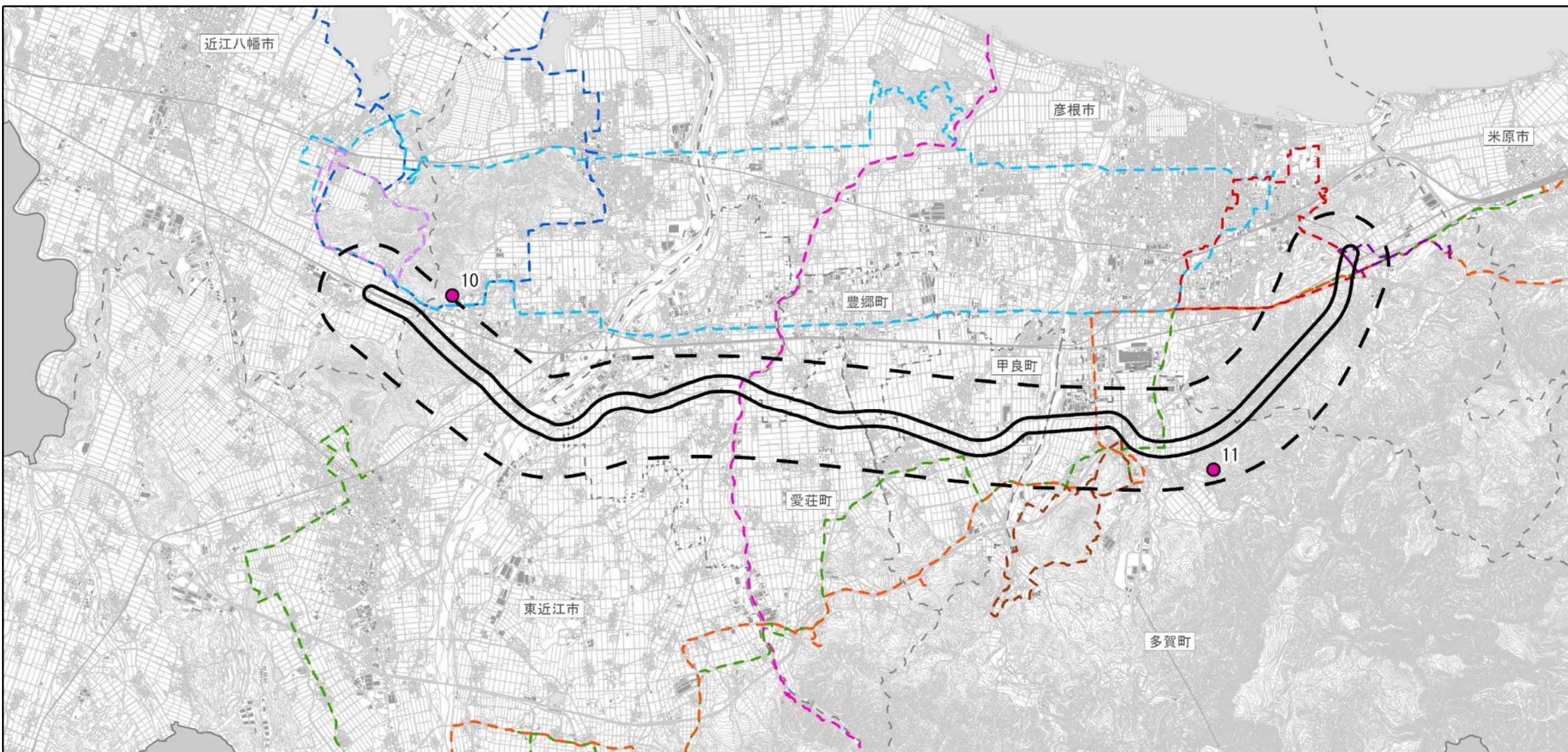
(4) 調査地点

調査地点は、人と自然との触れ合いの活動の場が存在する地点や対象道路に近接し影響が大きいと想定される地点等、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性や快適性に及ぼす影響を適切に把握できる地点としました。

調査地点は表 11-11-3 及び図 11-11-1 に示すとおりです。

表 11-11-3 調査地点

番号	名称
1	彦根周遊サイクルラリーコース
2	中山道鳥居本宿と佐和山城下町ウォーキング＆ジョギングコース
3	滋賀を歩こう。安土駅発着コース②（近江源氏ゆかりの地日本最大規模の山城へ登る）
4	滋賀を歩こう。近江鉄道多賀大社前駅発着コース
5	ビワイチ・プラスコース（特別史跡を行く—安土城跡と彦根城跡）
6	ビワイチ・プラスコース（近江鉄道で行こう！）
7	ビワイチ・プラスコース（湖東みどろ縦断とサイクルトレイン）
8	ビワイチ・プラスコース（宇曽川をいろどる桜並木）
9	ビワイチ・プラスコース（信長の夢と水辺の景観を味わう）
10	紅葉公園
11	芹川ダム・県立野鳥の森



凡 例

記号	番号	名称
●-----	1	彦根周遊サイクルラリーコース
-----	2	中山道鳥居本宿と佐和山城下町ウォーキング＆ジョギングコース
-----	3	滋賀を歩こう。安土駅発着コース②（近江源氏ゆかりの地日本最大規模の山城へ登る）
-----	4	滋賀を歩こう。近江鉄道多賀大社前駅発着コース
-----	5	ビワイチ・プラスコース（特別史跡を行く－安土城跡と彦根城跡）
-----	6	ビワイチ・プラスコース（近江鉄道で行こう！）
-----	7	ビワイチ・プラスコース（湖東みどり縦断とサイクルトレイン）
-----	8	ビワイチ・プラスコース（宇曾川をいろいろ桜並木）
-----	9	ビワイチ・プラスコース（信長の夢と水辺の景観を味わう）
●	10	紅葉公園
●	11	芹川ダム・県立野鳥の森

凡 例	
○-----	都市計画対象道路事業実施区域
-----	調査地域

S = 1 : 100,000

0.05 1 2 3 km



図 11-11-1 調査地点位置図

(5) 調査期間等

現地調査の期間等は、人と自然との触れ合いの活動の特性、主要な人と自然との触れ合いの活動の場を取り巻く自然資源の特性及び主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況を踏まえ、それらが適切に把握できる期間、時期及び時間帯としました。

現地調査は、季節的な変化を把握するため四季を基本とし、人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況を的確に把握するため、多くの人々が利用する休日（土日、祝日）に行いました。

調査期間等は、表 11-11-4 に示すとおりです。

表 11-11-4 調査期間等

時期	調査実施日	調査時間	備考
秋季	令和元年 11 月 16 日（土）	9 時～16 時	紅葉の時期
	令和 3 年 11 月 14 日（日）		
冬季	令和 2 年 2 月 23 日（日）	9 時～16 時	山地の冠雪の時期
	令和 4 年 2 月 11 日（金・祝）		
春季	令和 2 年 4 月 4 日（土）	9 時～16 時	桜の開花の時期
	令和 4 年 4 月 10 日（日）		
夏季	令和 2 年 8 月 1 日（土）	9 時～16 時	草木の茂る時期
	令和 3 年 8 月 14 日（土）		

1.2 調査結果

(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

人と自然との触れ合いの活動の場の概況の調査結果は、表 11-11-5 に示すとおりです。

表 11-11-5(1) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

番号	名称	活動内容	概要
1	彦根周遊サイクルラリーコース	散策、サイクリング	城のある町で、緑と歴史を感じながら、琵琶湖の風とともに走れるサイクルラリーコースです。
2	中山道鳥居本宿と佐和山城下町ウォーキング＆ジョギングコース	散策、ジョギング、サイクリング	歴史街道と戦国城下町、情緒の残る史跡を訪ねつつ、のどかな田園風景を楽しめる全長 6.5km のウォーキング＆ジョギングコースです。
3	滋賀を歩こう。安土駅発着コース②（近江源氏ゆかりの地 日本最大規模の山城へ登る）	散策、ハイキング	桑實寺、国内最大級の山城の観音寺城跡、教林坊、沙沙貴神社等を周遊する歴史と文化を楽しめる全長約 8.9km のコースです。
4	滋賀を歩こう。近江鉄道多賀大社前駅発着コース	散策、サイクリング	胡宮神社、檜崎古墳、滝の宮遊歩道、大瀧神社、多賀大社等を周遊する歴史と自然を楽しめる全長約 11.2km のコースです。
5	ビワイチ・プラスコース（特別史跡を行く－安土城跡と彦根城跡）	散策、サイクリング	滋賀県に 2 つしかない特別史跡、安土城跡と彦根城跡と、その周辺にある歴史遺産を中山道と朝鮮人街道でつなぐ全長 51.9km のサイクリングコースです。
6	ビワイチ・プラスコース（近江鉄道で行こう！）	サイクリング	電車内に自転車をそのまま持ち込めるサイクルトレインを利用できる近江鉄道周辺の代表的な観光名所を楽しめる全長 71.9km のサイクリングコースです。
7	ビワイチ・プラスコース（湖東みどろ縦断とサイクルトレイン）	サイクリング	中山道、鳥居本の宿場町、芹川沿い、多賀大社等を走る全長 59.5km のサイクリングコースです。
8	ビワイチ・プラスコース（宇曽川をいろどる桜並木）	ジョギング、サイクリング	宇曽川河口からスタートし、桜並木の自転車道を走り、中山道を超えて、ダム湖、山比古湧水まで走る全長 19km のサイクリングコースです。
9	ビワイチ・プラスコース（信長の夢と水辺の景観を味わう）	サイクリング	商人屋敷の町並みが保存された五個荘、安土城跡、大中の湖干拓地、伊庭の水辺景観等を走る全長 36.1km のサイクリングコースです。

表 11-11-5(2) 人と自然との触れ合いの活動の場の概況

番号	名称	活動内容	概要
10	紅葉公園	散策、ハイキング	紅葉公園は、近江商人の塙本仲右衛門が、自然の地形を生かして 100 年前に造園しました。晩秋の紅葉は見事なもので、山全体が赤や黄色に染まる姿は、人々の心をなごませてくれます。
11	芹川ダム・県立野鳥の森	散策、ハイキング、バードウォッチング	ダムを一周する探鳥路が整備されており、バードウォッチングやハイキングに最適です。ダム湖の周りの森林は、鳥獣保護区に指定されており、70 種を超える鳥が生息しています。

(2) 主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の分布、利用の状況及び利用環境の状況の調査結果は、表 11-11-6 に示すとおりです。

表 11-11-6(1) 調査結果（彦根周遊サイクリラリーコース）

調査地点		彦根周遊サイクリラリーコース
分布の状況	面積・延長	全長約 17km
	対象道路からの距離	対象道路と一部交差する
利用の状況	利用形態	散策、サイクリング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	旧彦根市民体育センター発 (JR 彦根駅から約 2km、バス、徒歩等)
利用環境の状況		彦根城下の堀の周りや城下町を通過し、彦根平野部の田園から低山までをサイクリングすることができる。
対象道路の視認性等		視認できる
		サイクリング（令和元年 11 月 16 日（土））
		散策（令和 2 年 2 月 23 日（日））
		散策、サイクリング（令和 2 年 4 月 4 日（土））
		サイクリング（令和 2 年 8 月 1 日（土））

表 11-11-6(2) 調査結果（中山道鳥居本宿と佐和山城下町ウォーキング&ジョギングコース）

調査地点		中山道鳥居本宿と佐和山城下町ウォーキング&ジョギングコース
分布の状況	面積・延長	全長約 6.5km
	対象道路からの距離	対象道路と一部交差する
利用の状況	利用形態	散策、ジョギング、サイクリング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	JR 鳥居本駅発
利用環境の状況		旧中山道、佐和山城下町を通過し、のどかな田園風景を眺めながら散策することができる。
対象道路の視認性等		視認できる
		散策（令和元年11月16日（土））
		散策（令和2年2月23日（日））
		ジョギング（令和2年4月4日（土））
		サイクリング（令和2年8月1日（土））

表 11-11-6(3) 調査結果（滋賀を歩こう。安土駅発着コース②）

調査地点		滋賀を歩こう。安土駅発着コース②（近江源氏ゆかりの地日本最大規模の山城へ登る）
分布の状況	面積・延長	全長約 8.9km
	対象道路からの距離	388m
利用の状況	利用形態	散策、ハイキング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	JR 安土駅発
利用環境の状況		観音寺城跡を目指すコースになっており、道中で観音信仰ゆかりの寺社や庭園等を観光しながら散策することができる。
対象道路の視認性等		視認できる
 散策（令和元年 11 月 16 日（土））		 ハイキング（令和 2 年 2 月 23 日（日））
 散策（令和 2 年 4 月 4 日（土））		 散策（令和 2 年 8 月 1 日（土））

表 11-11-6(4) 調査結果（滋賀を歩こう。近江鉄道多賀大社前駅発着コース）

調査地点		滋賀を歩こう。近江鉄道多賀大社前駅発着コース
分布の状況	面積・延長	全長約 11.2km
	対象道路からの距離	186m
利用の状況	利用形態	散策、サイクリング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	近江鉄道多賀大社前駅発
利用環境の状況		近江鉄道多賀大社前駅から多賀大社へは、参道が整備されており、道中では紅葉や桜を楽しみながら、散策することができる。
対象道路の視認性等		視認できる
 散策（令和元年 11月 16日（土））		 散策（令和 2年 2月 23日（日））
 散策（令和 2年 4月 4日（土））		 散策（令和 2年 8月 1日（土））

表 11-11-6(5) 調査結果（ビワイチ・プラスコース（特別史跡を行く－安土城跡と彦根城跡））

調査地点		ビワイチ・プラスコース (特別史跡を行く－安土城跡と彦根城跡)
分布の 状況	面積・延長	全長 51.9km
	対象道路からの距離	175m
利用の 状況	利用形態	散策、サイクリング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	安土城考古博物館発 (JR 安土駅から約 2km、自転車等)
利用環境の状況		安土城跡、五個荘金堂地区等、歴史遺産を回るコースであり、道中では紅葉、桜を楽しみながら、サイクリングすることができる。
対象道路の視認性等		視認できる
 		
サイクリング (令和元年 11 月 16 日 (土))		サイクリング (令和 2 年 2 月 23 日 (日))
 		
サイクリング (令和 2 年 4 月 4 日 (土))		サイクリング (令和 2 年 8 月 1 日 (土))

表 11-11-6(6) 調査結果（ビワイチ・プラスコース（近江鉄道で行こう！））

調査地点		ビワイチ・プラスコース（近江鉄道で行こう！）
分布の状況	面積・延長	全長 71.9km
	対象道路からの距離	対象道路と一部交差する
利用の状況	利用形態	サイクリング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	JR 米原駅発
利用環境の状況		多賀大社の周辺は、参道が整備されており、道中では紅葉や桜を楽しみながら、サイクリングすることができる。
対象道路の視認性等		視認できる
		サイクリング（令和元年11月16日（土））
		サイクリング（令和2年2月23日（日））
		サイクリング（令和2年4月4日（土））
		サイクリング（令和2年8月1日（土））

表 11-11-6(7) 調査結果（ビワイチ・プラスコース（湖東みどろ縦断とサイクルトレイン））

調査地点		ビワイチ・プラスコース (湖東みどろ縦断とサイクルトレイン)
分布の 状況	面積・延長	全長 59.5km
	対象道路からの距離	対象道路と一部交差する
利用の 状況	利用形態	サイクリング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	JR 米原駅発
利用環境の状況		旧中山道を通過し、田園風景を眺めながらサイクリングすることができる。また、多賀大社の周辺は、参道が整備されており、道中では紅葉や桜を楽しみながら、サイクリングすることができる。
対象道路の視認性等		視認できる
		サイクリング（令和3年11月14日（日））
		サイクリング（令和4年2月11日（金・祝））
		サイクリング（令和4年4月10日（日））
		サイクリング（令和3年8月14日（土））

表 11-11-6(8) 調査結果（ビワイチ・プラスコース（宇曽川をいろどる桜並木））

調査地点		ビワイチ・プラスコース（宇曽川をいろどる桜並木）
分布の状況	面積・延長	全長 19km
	対象道路からの距離	対象道路と一部交差する
利用の状況	利用形態	ジョギング、サイクリング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	宇曽川河口発（JR 河瀬駅から約 5km、自転車等）
利用環境の状況		宇曽川沿いに自転車道が整備されており、道中では桜を楽しみながら、サイクリングすることができる。
対象道路の視認性等		視認できる
		ジョギング（令和3年11月14日（日））
		サイクリング（令和4年2月11日（金・祝））
		サイクリング（令和4年4月10日（日））
		ジョギング（令和3年8月14日（土））

表 11-11-6(9) 調査結果（ビワイチ・プラスコース（信長の夢と水辺の景観を味わう））

調査地点		ビワイチ・プラスコース（信長の夢と水辺の景観を味わう）
分布の状況	面積・延長	全長 36.1km
	対象道路からの距離	175m
利用の状況	利用形態	サイクリング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	JR 能登川駅発
利用環境の状況		安土城跡、西の湖、伊庭内湖を回るコースであり、道中では紅葉、桜を楽しみながら、サイクリングすることができる。
対象道路の視認性等		視認できる
		
サイクリング（令和3年11月14日（日））		サイクリング（令和4年2月11日（金・祝））
		
サイクリング（令和4年4月10日（日））		サイクリング（令和3年8月14日（土））

表 11-11-6(10) 調査結果（紅葉公園）

調査地点		紅葉公園
分布の状況	面積・延長	全長約 350m
	対象道路からの距離	746m
利用の状況	利用形態	散策、ハイキング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	JR 能登川駅から約 6km、近江鉄道五箇荘駅から約 3km、バス、徒歩等
利用環境の状況		楓を中心とした紅葉を楽しみながら、散策、ハイキングすることができる。
対象道路の視認性等		視認できない
		散策（令和 3 年 11 月 14 日（日））
		ハイキング（令和 4 年 2 月 11 日（金・祝））
		公園内の状況（令和 4 年 4 月 10 日（日））
		公園内の状況（令和 3 年 8 月 14 日（土））

表 11-11-6(11) 調査結果（芹川ダム・県立野鳥の森）

調査地点		芹川ダム・県立野鳥の森
分布の状況	面積・延長	探鳥路：全長約 3.5km
	対象道路からの距離	297m
利用の状況	利用形態	散策、ハイキング、バードウォッチング
	利用時期・時間帯	通年
	交通手段	JR 彦根駅から約 7km、近江鉄道多賀大社前駅から約 2km、バス、徒歩等
利用環境の状況		芹川ダム周遊路が探鳥路として利用されており、散策、ハイキング、バードウォッチングをすることができる。
対象道路の視認性等		視認できない

注) 調査時は工事中であり、立ち入りができなかったため、関係機関への聞き取りにより利用状況等を把握した。

2. 工事の実施（工事施工ヤードの設置及び工事用道路等の設置）及び道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場

2.1 予測

(1) 予測の手法

1) 予測手法

① 主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変

主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取りまく自然資源と、工事施工ヤード、工事用道路及び対象道路を重ね合わせ、図上解析することにより、改変の位置、程度を把握しました。

② 利用性の変化

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用性の変化及び主要な人と自然との触れ合いの活動の場への到達時間・距離の変化を把握しました。

③ 快適性の変化

主要な人と自然との触れ合いの活動の場から認識される近傍の風景の変化が生じる位置・程度を把握しました。

2) 予測地域

① 主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び自然資源の改変

調査地域のうち、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取りまく自然資源の改変が生じる地域としました。

② 利用性の変化

調査地域のうち、主要な人と自然との触れ合いの活動の場又は場の利用に関し影響が生じる地域及び近傍道路において、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への到達時間・距離の変化が生じる地域としました。

③ 快適性の変化

調査地域のうち、主要な人と自然との触れ合いの活動の場から認識される近傍の風景の変化が生じ、雰囲気が阻害されると想定される地域としました。

3) 予測地点

予測地点は、表 11-11-7 に示すとおり、調査地域の範囲内に分布する主要な人と自然との触れ合いの活動の場としました。

表 11-11-7 予測地点

番号	予測地点	活動内容
1	彦根周遊サイクルラリーコース	散策、サイクリング
2	中山道鳥居本宿と佐和山城下町ウォーキング＆ジョギングコース	散策、ジョギング、サイクリング
3	滋賀を歩こう。安土駅発着コース②（近江源氏ゆかりの地日本最大規模の山城へ登る）	散策、ハイキング
4	滋賀を歩こう。近江鉄道多賀大社前駅発着コース	散策、サイクリング
5	ビワイチ・プラスコース（特別史跡を行く－安土城跡と彦根城跡）	散策、サイクリング
6	ビワイチ・プラスコース（近江鉄道で行こう！）	サイクリング
7	ビワイチ・プラスコース（湖東みどろ縦断とサイクリトレイン）	サイクリング
8	ビワイチ・プラスコース（宇曽川をいろどる桜並木）	ジョギング、サイクリング
9	ビワイチ・プラスコース（信長の夢と水辺の景観を味わう）	サイクリング
10	紅葉公園	散策、ハイキング
11	芹川ダム・県立野鳥の森	散策、ハイキング、バードウォッチング

4) 予測対象時期等

予測対象時期等は、工事施工ヤード、工事用道路の設置が想定される時期及び対象道路の完成時において、人と自然との触れ合いの活動の場の特性、主要な人と自然との触れ合いの活動の場を取りまく自然資源の特性及び主要な人と自然との触れ合いの活動の場の利用状況（利用時期）を踏まえ、主要な人と自然との触れ合いの活動の場に及ぶ影響を的確に把握できる時期としました。

(2) 予測結果

主要な人と自然との触れ合いの活動の場の予測結果は、表 11-11-8 に示すとおりです。

表 11-11-8(1) 予測結果（彦根周遊サイクリーコース）

予測項目		予測結果
工事の実施		<p>本ルートは工事の実施区域と交差し、工事の実施区域と交差する箇所の付近で工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による一時的な改変が生じますが、必要に応じてう回路の確保等を行うため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場としての機能は確保されます。</p>
主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度		<p>本ルートは対象道路と交差し、対象道路は切土構造で通過するため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場のルートは一部が改変されますが、改変される既存道路に対しては機能復旧をします。主要な人と自然との触れ合いの活動の場を取り巻く自然資源である低地・台地の田園域等は、一部が改変されますが大部分が残されます。</p> <p>よって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。</p>
道路の存在	利用性の変化	<p>散策、サイクリングの主な利用は、既存道路のルート上を中心としたものであり、ルートの一部は対象道路により改変されますが、機能復旧するため、散策、サイクリングの利用に支障は生じません。</p> <p>よって、利用性の変化はほとんど生じないと予測されます。</p>
	到達時間・距離の変化	<p>対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。</p> <p>よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。</p>
	快適性の変化	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場は、対象道路と交差し、対象道路が近傍に視認されますが、対象道路が視認される範囲はルート上のごく一部です。</p> <p>よって、快適性の変化はほとんど生じないと予測されます。</p>
		

表 11-11-8(2) 予測結果（中山道鳥居本宿と佐和山城下町ウォーキング＆ジョギングコース）

予測項目		予測結果
工事の実施		<p>本ルートは工事の実施区域と交差し、工事の実施区域と交差する箇所の付近で工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による一時的な改変が生じますが、必要に応じてう回路の確保等を行うため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場としての機能は確保されます。</p>
道路の存在		<p>本ルートは対象道路と交差し、対象道路は切土構造で通過するため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場のルートは一部が改変されますが、改変される既存道路に対しては機能復旧をします。主要な人と自然との触れ合いの活動の場を取り巻く自然資源である低地・台地の田園域等は、一部が改変されますが大部分が残されます。</p> <p>よって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。</p>
道路の変化	利用性の変化	<p>散策、ジョギング等の主な利用は、既存道路のルート上を中心としたものであり、ルートの一部は対象道路により改変されますが、機能復旧するため、散策、ジョギング等の利用に支障は生じません。</p> <p>よって、利用性の変化はほとんど生じないと予測されます。</p>
	到達時間・距離の変化	<p>対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。</p> <p>よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。</p>
	快適性の変化	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場は、対象道路と交差し、対象道路が近傍に視認されますが、対象道路が視認される範囲はルート上のごく一部です。</p> <p>よって、快適性の変化はほとんど生じないと予測されます。</p>



表 11-11-8(3) 予測結果（滋賀を歩こう。安土駅発着コース②）

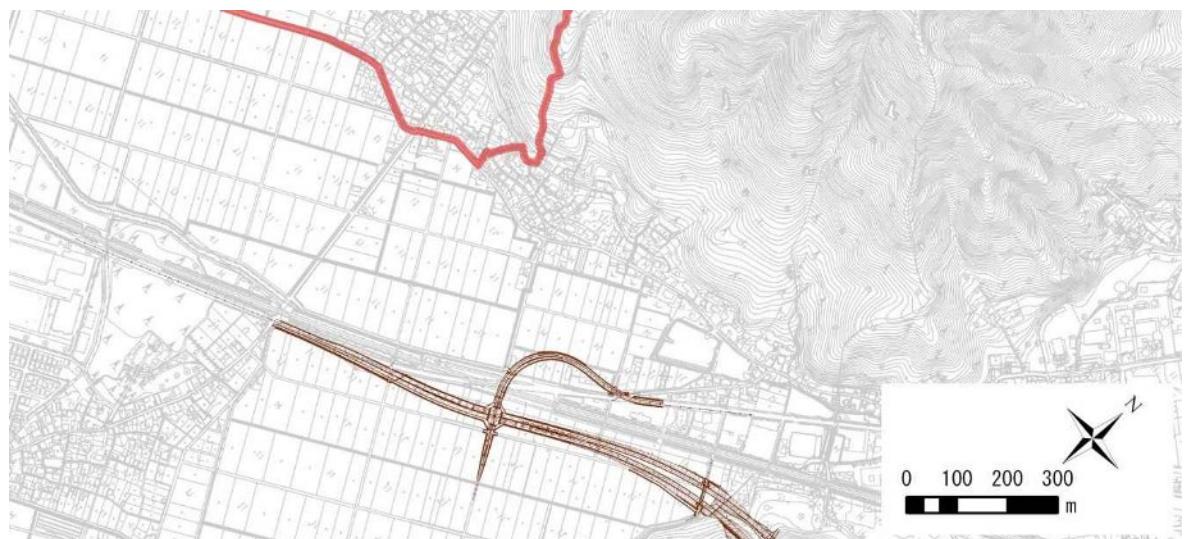
予測項目		予測結果
工事の実施	主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	
	本ルートは工事の実施区域と交差しないため、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置に伴う改変は生じません。	
道路の存在	利用性の変化	本ルートは対象道路と交差しないため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変は生じません。
	到達時間・距離の変化	散策、ハイキングの主な利用は、既存道路のルート上を中心としたものであり、対象道路による改変はないため、散策、ハイキングの利用に支障は生じません。 よって、利用性の変化は生じないと予測されます。
	快適性の変化	対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。 よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。
		

表 11-11-8(4) 予測結果（滋賀を歩こう。近江鉄道多賀大社前駅発着コース）

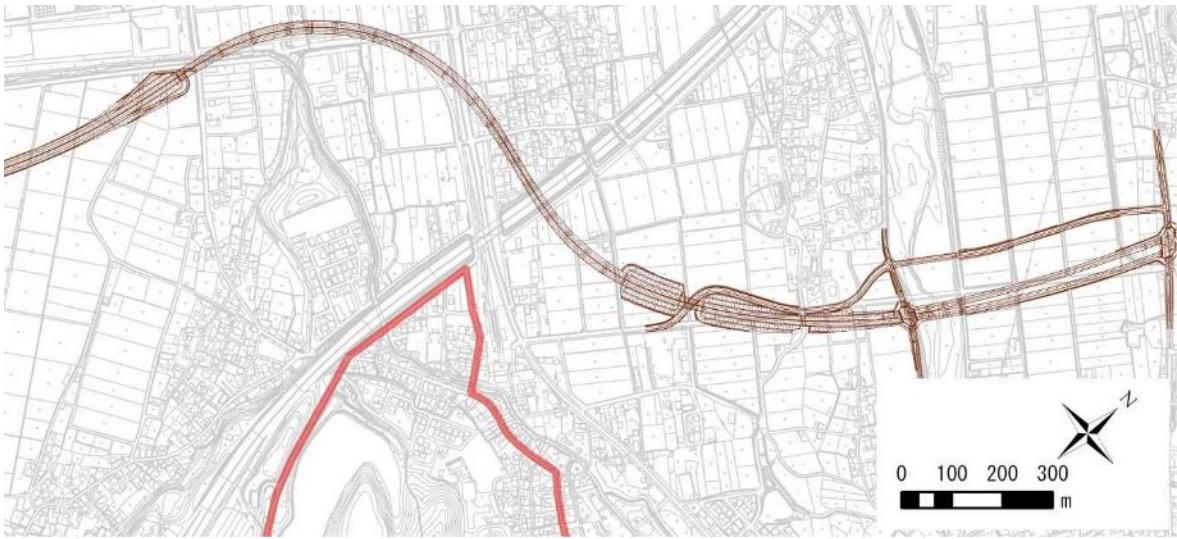
予測項目		予測結果
工事の実施	主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	本ルートは工事の実施区域と交差しないため、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置に伴う改変は生じません。
道路の存在	主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	本ルートは対象道路と交差しないため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変は生じません。
道路の存在	利用性の変化	散策、サイクリングの主な利用は、既存道路のルート上を中心としたものであり、対象道路による改変はないため、散策、サイクリングの利用に支障は生じません。 よって、利用性の変化は生じないと予測されます。
	到達時間・距離の変化	対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。 よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。
	快適性の変化	主要な人と自然との触れ合いの活動の場のルート上から北方向に対象道路が視認されますが、最短の視距離は約 186m と離れており、近傍の風景の変化は小さいと予測されます。 よって、快適性の変化はほとんど生じないと予測されます。
		

表 11-11-8(5) 予測結果（ビワイチ・プラスコース（特別史跡を行く－安土城跡と彦根城跡））

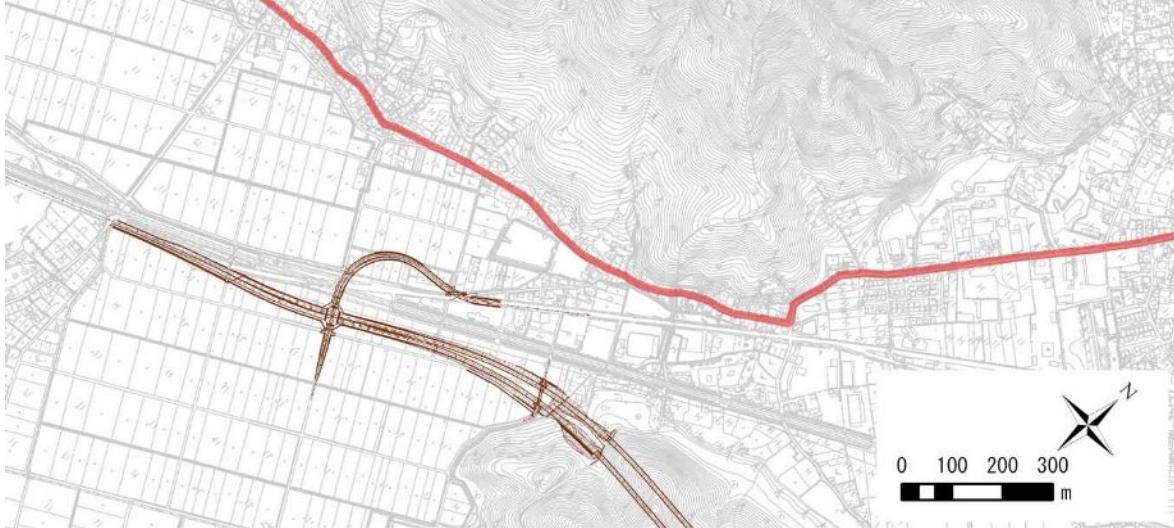
予測項目		予測結果
工事の実施		本ルートは工事の実施区域と交差しないため、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置に伴う改変は生じません。
主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度		本ルートは対象道路と交差しないため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変は生じません。
道路の存在	利用性の変化	散策、サイクリングの主な利用は、既存道路のルート上を中心としたものであり、対象道路による改変はないため、散策、サイクリングの利用に支障は生じません。 よって、利用性の変化は生じないと予測されます。
	到達時間・距離の変化	対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスマートは分断されません。 よって、到達時間・距離の変化による影響はない予測されます。
	快適性の変化	主要な人と自然との触れ合いの活動の場のルート上から南方向に対象道路が視認されますが、最短の視距離は約 175m と離れており、近傍の風景の変化は小さいと予測されます。 よって、快適性の変化はほとんど生じないと予測されます。
		

表 11-11-8(6) 予測結果（ビワイチ・プラスコース（近江鉄道で行こう！））

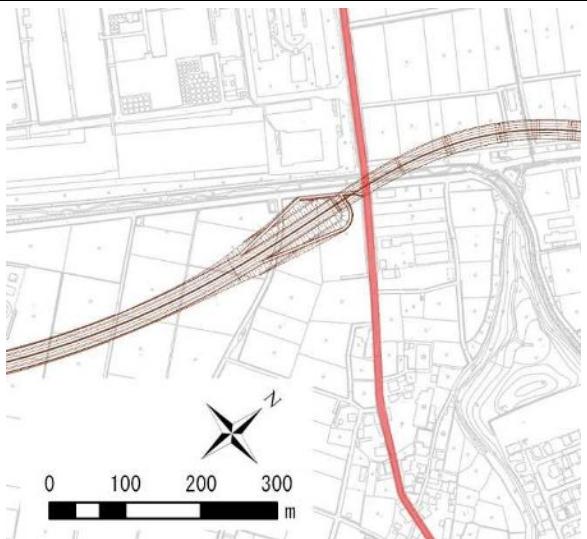
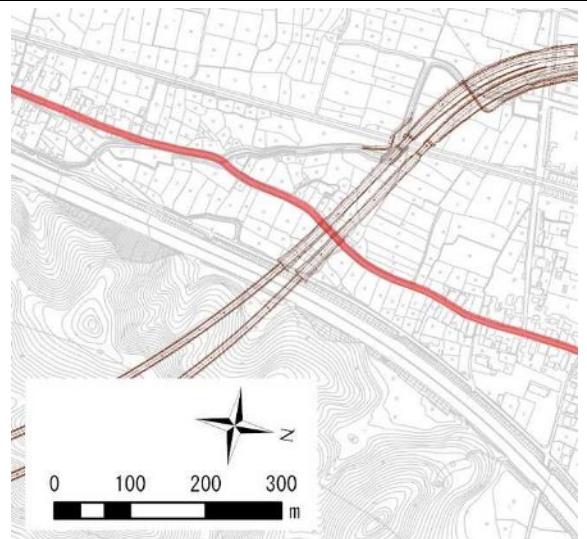
予測項目		予測結果
工事の実施		<p>本ルートは工事の実施区域と交差し、工事の実施区域と交差する箇所の付近で工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による一時的な改変が生じますが、必要に応じてう回路の確保等を行うため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場としての機能は確保されます。</p>
道路の存在		<p>本ルートは対象道路と交差し、対象道路は切土又は高架構造で通過し、主要な人と自然との触れ合いの活動の場のルートは、一部が改変されますが、改変される既存道路に対しては機能復旧をします。主要な人と自然との触れ合いの活動の場を取り巻く自然資源である低地・台地の田園域等は、一部が改変されますが大部分が残されます。</p> <p>よって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。</p>
道路の変化	利用性の変化	<p>サイクリングの主な利用は、既存道路のルート上を中心としたものであり、ルートの一部は、対象道路により改変されますが、機能復旧するため、サイクリングの利用に支障が生じません。</p> <p>よって、利用性の変化はほとんど生じないと予測されます。</p>
	到達時間・距離の変化	<p>対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。</p> <p>よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。</p>
	快適性の変化	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場は、対象道路と交差し、対象道路が近傍に視認されますが、対象道路が視認される範囲はルート上のごく一部です。</p> <p>よって、快適性の変化はほとんど生じないと予測されます。</p>
 		

表 11-11-8(7) 予測結果(ビワイチ・プラスコース(湖東みどり縦断とサイクルトレイン))

予測項目		予測結果
工事の実施		本ルートは工事の実施区域と交差し、工事の実施区域と交差する箇所の付近で工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による一時的な改変が生じますが、必要に応じて回路の確保等を行うため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場としての機能は確保されます。
道路の存在		本ルートは対象道路と交差し、対象道路は切土又は盛土構造で通過し、主要な人と自然との触れ合いの活動の場のルートは、一部が改変されますが、改変される既存道路に対しては機能復旧をします。主要な人と自然との触れ合いの活動の場を取り巻く自然資源である低地・台地の田園域等は、一部が改変されますが大部分が残されます。 よって、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源は保全されると予測されます。
利用性の変化	利用性の変化	サイクリングの主な利用は、既存道路のルート上を中心としたものであり、ルートの一部は、対象道路により改変されますが、機能復旧するため、サイクリングの利用に支障は生じません。 よって、利用性の変化はほとんど生じないと予測されます。
	到達時間・距離の変化	対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。 よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。
	快適性の変化	主要な人と自然との触れ合いの活動の場は、対象道路と交差し、対象道路が近傍に視認されますが、対象道路が視認される範囲はルート上のごく一部です。 よって、快適性の変化はほとんど生じないと予測されます。

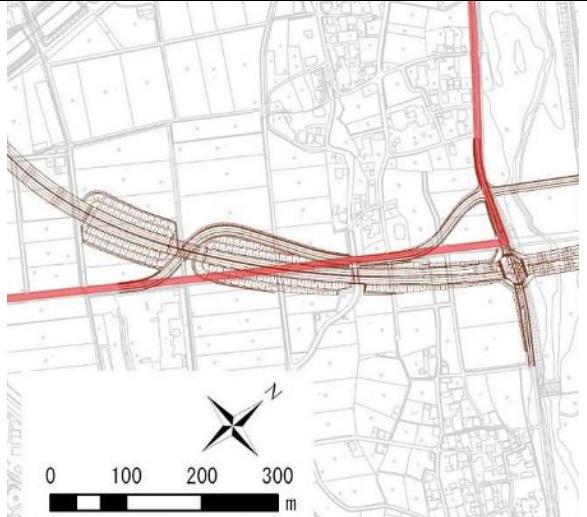
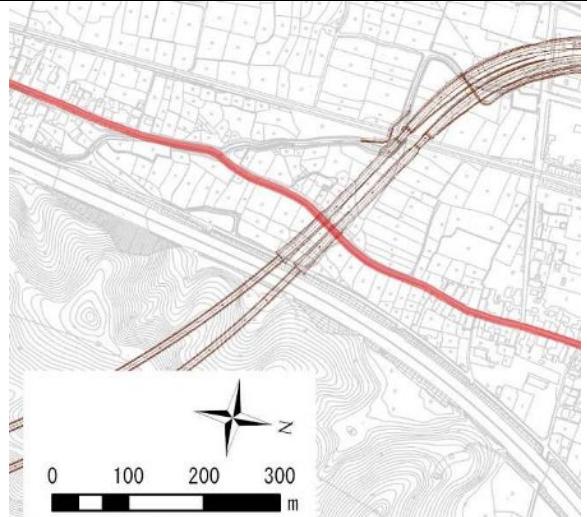



表 11-11-8(8) 予測結果（ビワイチ・プラスコース（宇曽川をいろどる桜並木））

予測項目		予測結果
工事の実施		本ルートは工事の実施区域と交差し、工事の実施区域と交差する箇所の付近で工事施工ヤード及び工事用道路等の設置による一時的な改変が生じますが、必要に応じてう回路の確保等を行うため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場としての機能は確保されます。
主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度		本ルートは対象道路と交差しますが、対象道路は高架構造でルートの上部を通過するため、主要な人と自然との触れ合い活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変は生じません。
道路の存在	利用性の変化	ジョギング、サイクリングの主な利用は、既存道路のルートを中心としたものであり、対象道路による改変はないため、ジョギング、サイクリングの利用に支障は生じません。 よって、利用性の変化は生じないと予測されます。
	到達時間・距離の変化	対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。 よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。
	快適性の変化	主要な人と自然との触れ合いの活動の場は、対象道路と交差し、対象道路が近傍に視認されますが、対象道路が視認される範囲はルート上のごく一部です。 よって、快適性の変化はほとんど生じないと予測されます。
		

表 11-11-8(9) 予測結果（ビワイチ・プラスコース（信長の夢と水辺の景観を味わう））

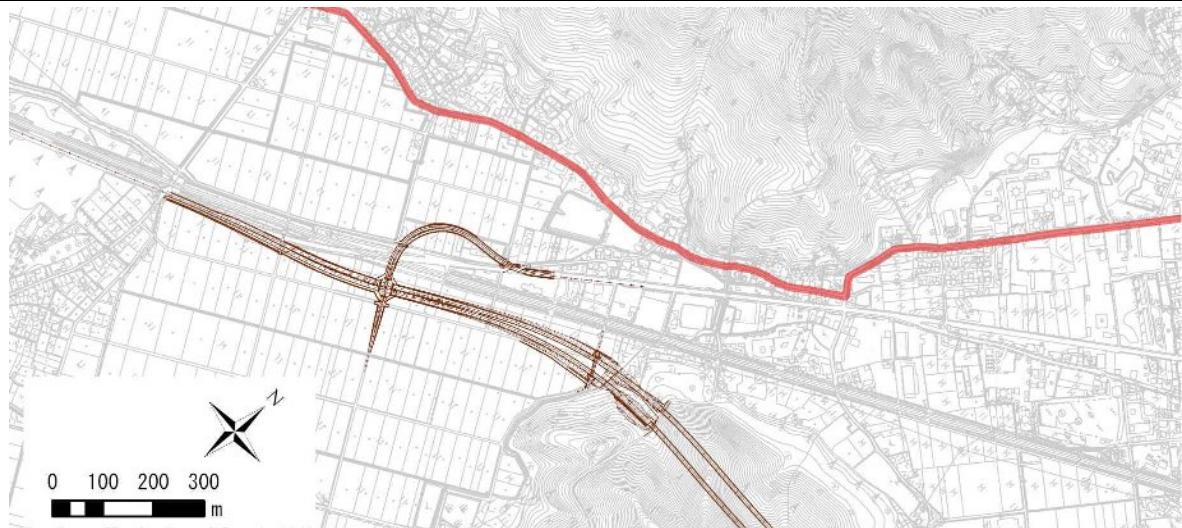
予測項目		予測結果
工事の実施	主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	本ルートは工事の実施区域と交差しないため、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置に伴う改変は生じません。
	主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変の程度	本ルートは対象道路と交差しないため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変は生じません。
道路の存在	利用性の変化	<p>サイクリングの主な利用は、既存道路のルート上を中心としたものであり、対象道路による改変はないため、サイクリングの利用に支障は生じません。</p> <p>よって、利用性の変化は生じないと予測されます。</p>
	到達時間・距離の変化	<p>対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。</p> <p>よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。</p>
	快適性の変化	<p>主要な人と自然との触れ合いの活動の場のルート上から南方向に対象道路が視認されますが、最短の視距離は約 175m と離れており、近傍の風景の変化は小さいと予測されます。</p> <p>よって、快適性の変化はほとんど生じないと予測されます。</p>
		

表 11-11-8(10) 予測結果（紅葉公園）

予測項目		予測結果
工事の実施		本ルートは工事の実施区域と交差しないため、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置に伴う改変は生じません。
道路の存在		本ルートは対象道路と交差しないため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変は生じません。
道路の存在	利用性の変化	散策、ハイキングの主な利用は、公園の敷地を中心としたものであり、対象道路による改変はないため、散策、ハイキングの利用に支障は生じません。 よって、利用性の変化は生じないと予測されます。
	到達時間・距離の変化	対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。 よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。
	快適性の変化	主要な人と自然との触れ合いの活動の場から、対象道路は視認されません。 よって、快適性の変化は生じないと予測されます。



表 11-11-8(11) 予測結果（芹川ダム・県立野鳥の森）

予測項目		予測結果
工事の実施		本ルートは工事の実施区域と交差しないため、工事施工ヤード及び工事用道路等の設置に伴う改変は生じません。
道路の存在		本ルートは対象道路と交差しないため、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及びそれを取り巻く自然資源の改変は生じません。
道路の存在	利用性の変化	散策、バードウォッチング等の主な利用は、野鳥の森の敷地を中心としたものであり、対象道路による改変はないため、散策、バードウォッチング等の利用に支障は生じません。 よって、利用性の変化は生じないと予測されます。
	到達時間・距離の変化	対象道路により改変される既存道路に対しては付け替え道路を整備し、機能復旧するため、アクセスルートは分断されません。 よって、到達時間・距離の変化による影響はないと予測されます。
	快適性の変化	主要な人と自然との触れ合いの活動の場から、対象道路は視認されません。 よって、快適性の変化は生じないと予測されます。



(3) 環境保全措置の検討

1) 環境保全措置の検討

予測結果より、工事施工ヤードの設置、工事用道路等の設置及び道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場への影響について、事業者の実行可能な範囲内で環境影響をできる限り回避又は低減することを目的として、2案の環境保全措置を検討しました。

検討の結果、「構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」及び「サイクリングコース、アクセス道路等の移設・機能復旧」を採用します。

検討した環境保全措置は、表 11-11-9 に示すとおりです。

表 11-11-9 環境保全措置の検討結果

環境保全措置	実施の適否	適否の理由
構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討	適	構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩に配慮し、周辺景観に調和させることにより、人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減できることから、本環境保全措置を採用します。
サイクリングコース、アクセス道路等の移設・機能復旧	適	サイクリングコース、アクセス道路等の部分的付け替えを行うことにより、人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減できることから、本環境保全措置を採用します。

2) 検討結果の検証

実施工事例等により、環境保全措置の効果に係る知見は蓄積されていると判断されます。

3) 検討結果の整理

環境保全措置に採用した「構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」及び「サイクリングコース、アクセス道路等の移設・機能復旧」の効果、実施位置、他の環境への影響について整理した結果は、表 11-11-10 に示すとおりです。

表 11-11-10(1) 環境保全措置の検討結果の整理

実施主体		国土交通省 近畿地方整備局
実施内容	種類	構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討
	位置	人と自然との触れ合いの活動の場より視認できる対象道路
環境保全措置の効果		構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩に配慮することにより、周辺景観との調和を図り、人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減できる。
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		景観及び文化財への影響が低減される。

注) 環境保全措置の具体化の検討時期は、事業実施段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定する。

表 11-11-10(2) 環境保全措置の検討結果の整理

実施主体		国土交通省 近畿地方整備局
実施内容	種類	サイクリングコース、アクセス道路等の移設・機能復旧
	位置	人と自然との触れ合いの活動の場と対象道路が交差する箇所
環境保全措置の効果		サイクリングコース、アクセス道路等の部分的付け替えを行うことにより、ルートが確保され、人と自然との触れ合いの活動の場への影響を低減できる。
効果の不確実性		なし
他の環境への影響		文化財への影響が低減される。

注) 環境保全措置の具体化の検討時期は、事業実施段階とし、最新の技術指針等を踏まえて決定する。

2.2 評価

(1) 評価の手法

1) 回避又は低減に係る評価

工事施工ヤード、工事用道路及び道路の存在に係る人と自然との触れ合いの活動の場への影響が、事業者により実行可能な範囲内でできる限り回避され、又は低減されており、必要に応じその他の方法により環境の保全についての配慮が適正になされているかどうかについて、見解を明らかにすることにより行いました。

(2) 評価結果

1) 回避又は低減に係る評価

対象道路は、道路の計画段階において、主要な人と自然との触れ合いの活動の場及び主要な人と自然との触れ合いの活動の場を取り巻く自然資源をできる限り回避し、法面は可能な限り緑化を行う計画としています。また、工事施工ヤードは対象道路上を、工事用道路は既存道路を極力利用して、工事の実施による土地の改変を最小限に抑えた計画としており、環境負荷の回避・低減を図っています。

加えて、環境保全措置として「構造物（橋梁等）及び道路付属物の形式、デザイン、色彩の検討」及び「サイクリングコース、アクセス道路等の移設・機能復旧」を実施することで、環境負荷を低減します。

のことから、環境影響は事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避又は低減されているものと評価します。